会 議 録

1 会議名

令和5年度 第9回三郷区地域協議会

- 2 議題(公開・非公開の別)
- (1)「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項の検討について
- (2) 地域協議会活動報告会の開催について
- 3 開催日時

令和5年12月21日(木) 午後6時30分から午後7時37分まで

4 開催場所

三郷地区公民館 集会室

5 傍聴人の数

0人

6 非公開の理由

- 7 出席した者 (傍聴人を除く。) の氏名 (敬称略)
 - ・委員:竹内浩行(会長)、伊藤善一(副会長)、保坂裕子(副会長)市村学、伊藤光夫、小山和美、平田伸一、山口典夫、吉田一彦、渡部弘美(欠席者2人)
 - ・事務局:南部まちづくりセンター 大島所長、滝澤副所長、石黒係長、難波主任
- 8 発言の内容

【難波主任】

- ・ 莅戸委員と平田清委員を除く10人の出席があり、上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告
- ・ 同条例第8条第1項の規定により、議長は竹内会長が務めることを報告

- ・会議の開会を宣言
- ・会議録の確認:平田伸一委員、山口委員に依頼

次第2「議題等の確認」について、事務局に説明を求める。

【滝澤副所長】

- ・配布資料の確認
- ・次第に基づき、議題の確認

【竹内会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求める。

一 次第3議題(1)「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項の検討について —

【竹内会長】

次第3議題(1)「地域活性化の方向性」に基づいた自主的審議事項の検討についてに入る。

前回と前々回の会議では、委員が二班に分かれてグループワークを行い三郷夏祭りなどのイベントを盛り上げるためのアイデア出しやリーダー育成について話し合い、各班の代表者から発表していただいた。各班の提案や意見をまとめた資料があるので事務局より説明を求める。

【難波主任】

この資料に記載の意見などを参考にして意見交換会に招く団体を三郷地区町内 会長協議会と三郷地区体育振興会の2団体とするか、それとも他の地域団体やリー ダーなども招くのか協議をお願いしたい。

・資料No.1により説明

【竹内会長】

・今ほどの説明に質疑を求めるがなし。

前回もお話したとおり、資料に記載の意見を地域団体等に提案するため、意見交換の場を設けようと考えている。

正副会長と事務局で協議し、意見交換に招く団体の候補として町内会長協議会と 体育振興会がよいと考えた。 この他にも意見交換に招いたほうがよい団体やリーダーの候補があるか、それと もこの2団体のみを招くこととしてよいか意見を伺いたい。

イベントをさらに盛り上げるためのアイデアやリーダー育成について、こうした ほうがよいなど追加の意見がある方は発言いただきたい。前回のグループワークか ら時間が経っているが、もうひと工夫してこうしたらよいとか、こんな提案をした らこれまでと違う企画ができるのではないかとか、こんな人を呼んでほしいといっ た意見はないか。それらを団体等と意見交換していく中で提案として伝えられると 思っているがいかがか。

【平田伸一委員】

様々な意見が出てこれはこれでよいと思っているが、そもそも夏祭りを行う目的は何か。これから意見が出て、それから目的がはっきりしていくということもある と思うが、今の時点での夏祭りを行う目的を再確認したい。

【竹内会長】

夏祭りは、地域の最も大きなイベントだったがコロナ禍で下火になり何年も開催 できていない状況である。

三郷小学校の統廃合について、方向性がある程度決まってきた。その中で「地域の活性化の方向性」というスローガンを作ったが、その実現に向けて夏祭りなど地域のイベントをどのように盛り上げていくか、地域協議会として手助けできるものはないのか皆さんの意見をいただき、それを基に意見交換をしていくことができればよい。

新型コロナ流行の影響で未だに地域を盛り上げるためのイベントをしなくてもよい雰囲気になってしまっていると感じている。活動している団体はあるが、かえって小さな団体のほうが精力的に活動しているように思う。三郷区がもっと活性化して以前のように盛り上がるようにしていかなくてはならないという思いがあり、そのために私たちも一役買わなくてはならないと考え「地域活性化の方向性」を定めたところである。

【平田伸一委員】

グループワークで夏祭りに関する様々な意見が出て、これらを次につなげる目的

で意見交換会を行うのであれば、もう少し広く三郷地区の各種団体から参画してもらうほうがよい。

【竹内会長】

夏祭りの実施主体は、実行委員会であるが他にも様々な団体が関わっている。意 見交換をする団体の候補は、先ほど提案した町内会長協議会、体育振興会の2団体 だが会場の収容人数も考慮してこの2団体とするか、団体の会長のみを呼ぶことと するのかも協議したい。

【山口委員】

この2団体でもよいと思う。町内会長協議会には会員である町内会長が11人いるが、正副会長のみを呼ぶのか、それとも全員を呼ぶのか。体育振興会も正副会長のみとするのか。平田伸一委員が言われたのは、意見交換会には協力していただく様々な団体の方にたくさん来ていただきたいということだと思うが、どの団体を呼ぶのか絞らなければならない。これまで地域活動支援事業を活用されてきた団体を呼ぶのか、それとも竹内会長が言われたように町内会長協議会と体育振興会から意見を聞く会とするのか。

【竹内会長】

意見交換をする団体に関しては、この後どうするか協議したい。グループワークで出た意見の他に追加の意見等があればお聞きしたい。各班で出た意見のほかに先ほど私が言ったプラスアルファのものがあれば出していただきたいがどうか。

【渡部委員】

グループワークで2班は夏祭りが開催される前提で協議した。意見交換では、話題を夏祭りの一つに絞って議論をしたほうがよいのではないか。

なぜ地域が衰退していったかというと、各団体のつながりがなくなってきたことがあると思う。例えば、ある団体では組織力がすごくあり活性化しているところがある。三郷区では「役員をするのが嫌だ」という声が多く、あらゆる団体が無くなっていった。その問題について、みんなで考えなくてはならない時期ではないかと思っている。

グループワークで皆さんから出していただいたアイデアやリーダー育成に関して、資料のようにまとめたのでこれ以上はなかなか出ないと思っており、また夏祭りに限ったほうがアイデアのより早い実現につながるように思う。

それでは、各班から出た資料の意見以外に特に付け加える意見はないということ でよろしいか。

(「よし」を確認)

前回も話したとおり、これらの意見を地域団体に提案するため意見交換の場を設けようと考えている。お呼びするのは町内会長協議会と体育振興会の2団体としているが、平田伸一委員から様々な団体を呼ぶべきという意見もあった。こんな団体も呼んだほうがよいという意見があればお聞きしたい。

【山口委員】

人数にもよるが、これまでに夏祭りに参加した経験のある団体を呼べばよいのではないか。渡部委員が言ったようにこの三郷地区を賑やかにしようということが一つの狙いだと思う。まず、手始めに夏祭りが賑やかになり、それがきっかけで他の団体の活動につながる起爆剤になればよいと思いこれまで意見を提案してきた。

【竹内会長】

体育振興会が中心となってこれから夏祭り実行委員会という組織が立ち上がる。 実行委員会は、町内会長協議会と連携して活動し、PTAなどの団体も関わっている。

【山口委員】

ENJOY35などの地域活動を行っている団体の代表を呼ぶか、夏祭りを経験したことのある人たちもお呼びするかだと思う。意見交換会では、各町内会長から「夏祭り実行委員会にはどの団体を呼ぶのか」という質問が出ると思う。来年も夏祭りに関する打合せをすると思うが、意見交換会に来てもらって話を聞いていただければよいと思う。

【竹内会長】

令和6年度の事業提案書は、既に市に提出されているため、私たちが今回提案するアイデアを6年度の事業に反映させることは間に合わない。今後の参考としてこ

のようなアイデアもあるという提案を地域活動団体に対してできればよい。

【平田伸一委員】

確認だが、意見交換会のテーマは夏祭りについてなのか、それとも地域活性化の ためとするのか。

【竹内会長】

地域活性化を目指すための起爆剤が夏祭りなので、夏祭りにある程度限定したほうがよいと思う。夏祭りには様々な団体が関わっているという理由もある。しかし、全ての団体を呼ぶわけにはいかない。基本的には話題の入口を夏祭りとしたい。

【市村委員】

子ども会も呼んだほうがよいと思う。PTAを呼んでも三郷小学校の先生が地域 と関わってくれるか分からない。三郷小学校が南本町小学校に統合されるとなると、 なおさらPTAには南本町小学校との関わりも出てきてしまう。

三郷区内のことだけを考えるのであれば、三郷区の子ども会、子育て世代の保護者から「子どもたちがどのようなことをしたら地域で楽しめるのか」という意見を聞いたほうがよい。子育て世代の若い人たちが参加できるように子ども会も含めたほうがよい。

【竹内会長】

小学校の統合問題を考えると、子ども会を呼ぶことがよいのか。

【伊藤副会長】

町内会長協議会と体育振興会と市村委員が言った子ども会の他には、あまり多く 呼ぶ必要はないと考えている。私たちがグループワークで考えたアイデアの中で 「このアイデアにはこの団体に協力してもらう」という例を私たちが挙げて、例え ばゲームなら子ども会と一緒に実施してはどうかと提案することもよいと思う。

夏祭り実行委員会がどの団体と一緒に活動していくかまだ見えていない現状もある。夏祭りに関わる全ての団体を集めても実行委員会の代表の方がどうしたらよいのか戸惑うと思う。夏祭りの実施団体は、体育振興会がほぼ中心になっていくと思うので、その代表の方に「私たちはこのような案を考えたので、こういう団体と一緒にこのイベントをしていったらどうか」と提案することでよいと思う。それに

より提案を受けた団体と一緒に実施してみようということになればよい。団体をあまり多く呼んでもなかなか意見がまとまらないので、最も中心となる体育振興会に私たちのアイデアを出して、この団体と実施してはどうかと提案するのがよいと思う。

【竹内会長】

町内会長協議会、体育振興会、子ども会という案が出ているが、その3団体としてはどうか。町内会長協議会については、町内会長を全員呼ぶのか、それとも三役だけでよいのかという検討も必要である。

町内会長を全員呼ぶよりは、まず三役に話を聞いていただき、三役から各町内会 長に伝えてもらったほうがよいように思う。全11町内会長を呼んで意見交換をし てもその場で話を聞くだけで終わってしまい、その先の展開が見えなくなる気がす る。町内会長協議会は三役を呼び、その他の団体は代表だけでよいと思うがどうか。

【山口委員】

町内会長協議会長に相談したらどうか。三役以外の町内会長も呼んでほしいと言われれば、来ていただいてもよいと思う。こちらから三役のみでお願いしたいと言えば、町内会長協議会長はそれでよいと言うかもしれない。

【保坂副会長】

意見交換会は1月に開催予定だが、三郷区の町内会長は12月末で交代する人が多数いる。このため、全員に来ていただいて「地域協議会として地域活性化のためにこのようなことを考えている」ときちんと伝える場としたほうがよいと思う。体育振興会は、三役でよいのではないか。もう一団体くらい呼べるのであれば呼んでもよいが、どの団体を呼べばよいか決めるのは難しいと思う。

今回は、話し合いのきっかけづくりをして、体育振興会を中心とした夏祭り実行委員会が開かれた際に「地域協議会がこのような提案をしてくれたがどうか」という話し合いのたたき台としてもらえればよい。そのきっかけづくりと私たちの提案内容を理解いただくことを目的とした意見交換会になればよい。

【竹内会長】

他にどうか。

【渡部委員】

これまで体育振興会が中心になって夏祭りを開催していたのか。

【竹内会長】

従来では夏祭り実行委員会を設立してから開催に向けて動いていた。おそらく体育振興会が中心になっていたと思う。

以前、山口委員が関わられた際、夏祭りで来場者に枝豆を出されていた。あれは どのような経緯だったのか。

【山口委員】

私の家の近くの高校に貢献しようということで、高田農業高校のOBたちが夏祭りの催し物のブースで枝豆を出すことになり実施した。その中心になって動いていた人は、体育振興会の前会長である。その他には子ども会、PTA、ENJOY 35等がおそらく参加されていた。

【小山委員】

中心は、体育振興会というよりも三郷小学校区青少年健全育成協議会の中の部会が夏祭りにずっと関わっており、その部会の人数だけでは足りないのでボランティアスタッフとして子ども会を巻き込んでいた。更にそれでも人数が足りないので追加でスタッフを募り、PTAにも頼んだ。

【保坂副会長】

来年度は、小学校と青少協との関係がなくなると聞いており、これまでの青少協の一つの部門として夏祭り実行委員会をつくる体制ではなくなったそうである。大きな転換期となっている。

【渡部委員】

中心となっていたのが青少協だとすると、当時動いていたのは体育振興会ではな かったということか。

【保坂副会長】

三郷小学校内に青少協の事務局がある。その中に三つの部門があり、その中の一つの部門に長年、体育振興会の前会長がいてその人が中心となり夏祭りを開催していた。

【渡部委員】

以前、中心となっていた団体が体育振興会ではなかったのであれば、ENJOY 35や子ども会の代表を意見交換会に呼んだほうがよいのではないか。最初に中心となっていた青少協を呼べないのであれば、代わりにENJOY35の代表を呼んだほうがよいのではないか。

【小山委員】

当時は青少協も体育振興会も代表が同一人物で、その人が全ての団体を巻き込んでいた。

【渡部委員】

過去はともかくとして、今後、実行委員会を立ち上げて動こうとしている人は体育振興会の現会長なのか。今はどの団体に実行委員会の役割があり、立ち上がろうとしているのか。それが体育振興会なのであれば、その人たちを呼べばよいのではないか。

【平田伸一委員】

過去には三郷地区大運動会に小学校も関わり先生方も一緒に頑張ってくれて、 PTAも町内会長も運動会の実行委員となりそれぞれ動いてくれていたが、コロナ 禍が過ぎたら学校は「学校だけで運動会をする代わりに地域の行事には参画しない」 という方針になった。昨年から運動会が復活したが、その中核となって活動してい るのは体育振興会であり、町内会長協議会と連携して実施している。

学校ではなく地域の中で中核となってくれる団体に的を絞っていかなくてはならないのではないか。全町内会長から来ていただいても、全員から意見を聞くとかなり時間がかかってしまうので、あらかじめ町内会長協議会に話をした上で三役から来ていただいたらどうか。体育振興会は全員を呼ぶのは無理だと思うので三役としたらどうか。これだけでも6、7人くらいになる。あとは子ども会のような地域の子どもたちに関する団体の方々に来ていただいてはどうか。

【竹内会長】

皆さんからいろいろと思い出して話してもらい、分からなかったことがだいたい 分かった。最終的にまとめると、町内会長協議会、体育振興会、PTAと青少協の 関係が変わってきているということなので、今ほど平田伸一委員が言われた団体と 調整する。三役のみを呼ぶのか全員を呼ぶのかということも含めて協議をする。

来年の1月21日に町内会長協議会の総会が開催され、そこで新しい代表者が決まる。私たちの意見交換会は1月23日に予定しており、今の町内会長協議会長には私から意見交換会をしたいと打診してある。今後、詳細について調整する。

意見が出たとおり、町内会長協議会、体育振興会、子ども会、それから ENJOY35も含めて検討して団体を決めたい。意見交換会の開催に向けて準備 を進めるということで賛同いただきたいが、よろしいか。

(「よし」を確認)

次に、グループワークで出た意見の中で、様々な分野に特化して優れた能力を持っている方々との協力体制を取るために私たちや地域団体から声がけし、盛り上げていくことが必要と考えており、これに関して意見をいただきたい。

そのようなスペシャリストたちは、夏祭り以外でも三郷区外の様々な催し物に参加されている。せっかく素晴らしいスペシャリストがいるのだから、そのような人たちともっと区内のイベントを盛り上げていければよいと考えており、これについても意見をいただきたい。

【渡部委員】

三郷まちづくり振興会に地域団体等が使える予算がある程度あると聞いている。 地域団体がその予算を使うことを申請するのを待つだけではなく、まちづくり振興 会から団体に「このように使える」ということを声がけしてもらえたら、申請がも っと出てくるのではないかと思う。やはり予算付けはすごく重要なのではないか。

【竹内会長】

団体が持つ予算は限られているため、まちづくり振興会にはもっとPRをしていただき、制度の周知を図っていただきたい。

【吉田委員】

三郷区のスペシャリストについて、どのような人がいるのか私たちにはよくわからない。今後、活躍していただきたいということであれば呼んでもよいが、私たちは特技を持った人を知らないのが現状だと感じている。

【竹内会長】

これまで、スペシャリストたちを知る場面があまりなかった。今年の三郷地区公 民館の文化祭では、様々なものが展示されたり披露されたりという場面があった。 ギター、オルガン、オカリナなどを演奏する人がいるのを見て、こんな人がいるの かと驚いた。そのような人がいるという情報も発信していかなければならないと思 っており、意見交換の中でその情報をお伝えするのがよいと思っている。

【伊藤光夫委員】

吉田委員が言われたとおり、私も三郷区にいるスペシャリストが思い浮かばない。 前もこの会議で話したが、三郷区の人が上越タイムスの記事で掲載されたことがあ る。

まず、意見交換会に町内会長協議会や体育振興会といった団体の皆さんに来ていただいてスペシャリストに関する情報提供をしてもらい、夏祭りの発表の場で地域の方に知っていただくことが大変重要なことではないかと思う。

【保坂副会長】

ここで具体的に個人名を出していいのか。伊藤光夫委員が上越タイムスの記事で 見られたのは、三郷区の人が作る竹灯篭のことか。

【伊藤委員】

リレー形式で人物を紹介する記事で、三郷区に特技のある人がいると知った。

【保坂副会長】

三郷区のある女性はミニフラワー作りをされており、竹灯篭づくりをされている 男性もいる。ENJOY35が実施した事業では、その男性に材料を用意していた だき、小学生たちが灯篭を作った。このように竹灯篭を事前に作って、夏祭り当日 の夜に会場に飾ったら素敵だと思った。

また、春駒の関係では若い男性が中心となって踊りの教室をしていただいているし、他にもおいしいコーヒーを出す人もいる。

三郷区にはエレクトーンを演奏する人とオカリナの教室に通っている人がいる。 そのような方々に声をかけて何人か来ていただければ楽しいのではないか。演奏会 をときどきされており、笛吹の里にも来られたことがある。みんなでアンテナを張 って探せば、結構いるのではないか。

【竹内会長】

地域にすごい特技を持っている人がいるということを意見交換の中で団体の代表の方々にお伝えするようにしていけばよいと思っている。その方々が夏祭りの中で発表できる場を設けるという提案も意見交換の中でできればよい。スペシャリストの情報を取りまとめて、意見交換で情報提供できればよい。

他にどうか。

【平田伸一委員】

三郷区にはマジシャンもいる。

【渡部委員】

三郷地区公民館主事に聞けば情報が得られると思う。

【竹内会長】

意見交換に向けて皆さんから非常によい意見をいただいた。今回の意見を踏まえて意見交換会に向けた調整、準備をしていきたい。招く団体については、町内会長協議会、体育振興会、子ども会とプラスアルファの団体で調整していきたい。日程については、次回の1月の協議会開催予定日に合わせたいが、先方の都合もあるので調整して連絡したい。

今回の皆さんからの提案が全て実現できるとは限らず、実現する努力をしなければならない。地域協議会として「地域活性化の方向性」の実現を目指していきたいと思っており、地域協議会からの提案を一つの成果にしたいとも思っているので、今後ともよろしくお願いしたい。

以上で、次第3議題(1)「「地域活性化の方向性に基づいた自主的審議事項の 検討についてを終了する。

一 次第3議題(2)地域協議会活動報告会の開催について ―

【竹内会長】

次第3議題(2)地域協議会活動報告会の開催についてに入る。

事務局に説明を求める。

【難波主任】

今期の地域協議会委員の任期は、来年の4月28日をもって満了となる。この4年間の活動の成果を三郷区の住民の皆さんに報告するために開催するものである。この活動報告会は、市内の28区全ての地域協議会が開催する予定である。日時は令和6年2月20日火曜日の午後6時30分から、会場は三郷地区公民館の1階の和室を予定している。内容は、今期の地域協議会の活動報告と地域協議会委員の改選についてお知らせする予定である。多くの住民の皆さんから参加をいただきたいことから地域の方への積極的なお声がけをお願いしたい。

【竹内会長】

・今ほどの説明に質疑を求める。

【平田伸一委員】

何時から開催するのか。

【竹内会長】

午後6時30分からである。

【平田伸一委員】

午後7時から地域協議会ということだが、30分間ということか。

【竹内会長】

30分間を予定している。

【難波主任】

午後6時30分から約30分間活動報告会を行い、そのあと午後7時から定例の 地域協議会を予定している。

【竹内会長】

どのように地域へ周知するのか。

【難波主任】

地域協議会だよりで周知する予定である。また、広報上越にも全28区の活動報告会の日程等をまとめたものが掲載される予定である。

過去の活動報告会では、地域活動支援事業の報告会も兼ねて行っており、事業実施団体からそれぞれ成果を報告していただいていたため1時間近くかかっていた。 今回は、委員の改選や4年間の活動の総括として私たちが行ってきた意見書の提出や春駒関係の活動を報告して、質疑をいただく形式になると思う。その見込みで所要時間を30分と考えている。広報上越と地域協議会だよりで地域の皆さんに周知する予定である。皆さんも年末年始のイベント等でこの活動報告会の情報を町内の方にお伝えいただければありがたい。

事務局から活動報告会の開催について説明があった。説明のとおり活動報告会を 開催するということでよろしいか。

(「よし」を確認)

それでは、活動報告会を開催することとする。

以上で、次第3議題(2)地域協議会活動報告会の開催についてを終了する。

一 次第4事務連絡 一

【竹内会長】

次第4事務連絡に入る。事務局より説明を求める。

【滝澤副所長】

- ・意見交換会:1月23日(火)午後6時30分から 三郷地区公民館
- ・第10回地域協議会:2月20日(火)午後7時から 三郷地区公民館 ※午後6時30分から 地域協議会活動報告会

【竹内会長】

事務局の説明について、質問のある委員の発言を求める。

【山口委員】

確認だが、活動報告会に委員全員が出席する必要はあるのか。

【難波主任】

正副会長には出席をお願いしている。他の委員の出席は、任意である。

いずれにしても活動報告会後に地域協議会があるので、できれば委員の皆さんに 参加いただきたい。私たちの活動の振り返りもあるので、よろしくお願いしたい。 本日の議題は全て終了した。

・会議の閉会を宣言

9 問合せ先

総合政策部 地域政策課 南部まちづくりセンター

TEL : 0 2 5 - 5 2 2 - 8 8 3 1 (直通)

E-mail: nanbu-machi@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料もあわせてご覧ください。